

第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成16年9月6日(月) 5校時
児 童 5年1組 男18名 女16名 計34名
指導者 千葉 郁男

- 1 単元名 体験したことを分かりやすく伝えよう
教材名 わたしたちの学校生活

2 単元設定の理由

(1) 児童観

5年1組の子どもたちは、全体的にとっても素直であり、指示されたことをしっかりやろうとする姿勢が見られる。また、みんなと共に頑張ろうとする気持ちもあり、いろいろな課題に対して協力して取り組もうとする意欲や態度も見られる。しかし、自分の考えを持ち、その考えを発表することに対しては、まだ十分な力が付いていないため、一部の子どもの発言に偏りがちであり、全体としては意欲的に発表できる状態とはいえない。ただし、発表できる子どもたちの姿を見て、自分もそうなりたいという憧れや向上心があるので、漸進的ではあるが改善されている。

「話すこと」については、「わたしたちはこう考える」という単元で、話し合いの仕方について学び、自分の立場を明らかにした意見を持ち、その意見を分かりやすく発表する力をつけている。さらに、林間学校報告会では、いろいろな表現方法を利用したグループでのスピーチ的活動ができるようになってきている。また、朝の会での「1分間スピーチ」に継続して取り組むことで、話すことに対して抵抗感の少ない子どもたちになっている。ただ、その話し方は、原稿を読むことに気を取られがちであり、自分の思いを相手に伝えようという意識が弱いので、これからも継続して指導していく必要がある。

「聞くこと」については、「相手の目を見て話を聞く」「相手の話を受け止める」という気持ち作りと姿勢作りを中心に指導している。4月の段階では、なかなか相手の目を見て話が聞けない子どもたちであったが、現在ではかなり意識して聞けるようになってきている。さらに、発言する際に前の人の意見を受けて話そうとする姿勢も見られるようになってきている。

「書くこと」については、毎日の家庭学習で日記に取り組ませることにより、抵抗なく文章が書ける子どもたちになってきている。しかし、その日記などの文章を見ると、多くの子どもたちは、自分の思いを伝えるために文章全体の組立てを考え文章を書いているのではなく、思いついた内容を順番に羅列しながら文章を書いている。

(2) 教材観

本単元の主たる指導事項は、「話すこと・聞くこと」では「考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと」、「書くこと」では「自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組立ての効果を考えること」である。「話すこと・聞くこと」では、自分の思いが相手に分かりやすいように話を組立て、スピーチをする力を、「書くこと」では、自分の思いが相手に伝わりやすいように文章全体の組立てを考えながら書く力を育成することが重点となる。

本教材は、5年生のこれまでの活動の素晴らしさややりがいを、来年の5年生である4年生に伝えるという教材である。この学習で、子どもたちはこれまでの活動を振り返り、自分たちの成長に気づき、今後の活動に対する大きな自信を持つことができる。4年生を報告の対象とすることにより、高学年としての自覚をさらに高めることができる。さらに、5年生の楽しく充実した活動から自分の思いを伝える内容を選ぶことにより、子どもたちはより意欲的にこの学習活動に取り組むことになる。自分の思いを分かりやすく伝えようとする中で、報告文の組立てやスピーチ原稿を考える力、スピーチ表現の仕方を高めることになる。以上のことから、本教材は有効な教材であると考えられる。

(3) 指導観

5年生としてのこれまでの活動を振り返り、4年生に5年生の活動を伝える中で、相手に分かりやすく自分の考えを伝える文章を書けるようになること、そしてその文章をもとに相手に分かりやすくスピーチできるようになることが本単元のねらいである。その本単元のねらいに迫るために、以下のことを指導の手立てとして位置づけた。

- ① (表現活動の話題に興味・関心をもてるようにすること) 第1時に、5年生の活動を振り返り、どんな活動があり、その活動で楽しかったことや力のついたことなどを、一人一人考え、それをもとに学級全体で交流させる。楽しく充実した活動であったことを全員に自覚させることで、自分が伝えたい話題に興味を持てるようになる。
- ② (目的意識をもてるようにすること) 5年生のいろいろな活動が楽しく充実したものであることを、4年生に分かりやすく伝え、5年生への夢や憧れを持たせることがこの活動の目的であることを意識させる。

- ③ (相手意識を持てるようにすること) 伝える相手は4年生であるということを、第1時に意識させる。4年生に自分の思いを分かりやすく伝えるためには、どのように文章を組立てたらよいのか、どのようなスピーチの仕方の工夫をしたらよいのかという視点で活動させる。
- ④ (場を意識できるようにすること) 報告会は音楽室で行うので、常に音楽室の広さを意識させ、4年生全員に自分の思いが確実に伝わる声の大きさと表現方法を考えながらスピーチ練習させる。
- ⑤ (筋道を立てるようにすること) 報告文やスピーチ原稿も、自分の伝えたいことを確実に持たせることがまず大切である。その上で、自分の思いを効果的に伝えることのできる文章やスピーチの組立てを考えさせる。組立てを考えやすくするために文章やスピーチの雛形を何種類か提示して、原稿作りやスピーチの仕方の参考にさせる。
- ⑥ (成就感をもてるようにすること) 完成した報告文をお互いに見せ合うことで、お互いのよさを認め合い、そのよさを広めあう。これが成就感となり、スピーチへの意欲につながる。スピーチ練習では、ただアドバイスするだけでなく、相手のよさも見つけるようにする。報告会では4年生から感想をもらい、学習の振り返りの場面では自分の姿をビデオで見せ自己評価と他者評価を行い、さらなる成就感を持たせたい。

3 単元の指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

○文章やスピーチで、相手に分かりやすく伝えることを意識し、意欲的に報告文を書いたり、意欲的にスピーチの準備やスピーチをしようとしていたりしている。

(2) 話すこと・聞くこと

○5年生になってこれまで経験した楽しく充実した活動についての自分の思いを持ち、相手に分かりやすい話の組立てを工夫して、スピーチをすることができる。(ア)

(3) 書くこと

○5年生になってこれまで経験した楽しく充実した活動についての自分の思いを、相手が分かりやすいように、文章全体の組立てを考えながら書くことができる。(ウ)

(4) 言語事項

○文章やスピーチのいろいろな構成の仕方について理解することができる。(オー (ア))

4 単元の評価規準

(1) 国語への関心・意欲・態度

○4年生に分かりやすく伝えるための文章の組立てや表現方法を考え、さらに工夫を加えながら、意欲的に報告文を書いたり、スピーチをしたりしている。

(2) 話すこと・聞くこと

○5年生になってこれまで経験した楽しく充実した活動についての自分の思いを短い言葉に表し、その思いが効果的に相手に伝わるように、具体例を参考にしながら、報告文をもとに話の組立てを考えスピーチをしている。

(3) 書くこと

○5年生になってこれまで経験した楽しく充実した活動についての自分の思いを短い言葉に表し、その思いが効果的に相手に伝わるように、具体例を参考にしながら、カードを利用して文章の組立てを考え報告文を書いている。

(4) 言語事項

○報告文やスピーチのいろいろな構成の仕方について理解している。

5 自分を豊かに表現する児童の具体化 (「話すこと・聞くこと」に関わって)

	構成要素	児童の具体化
①	自分の思いや考えを持つ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年生に伝えたい活動と活動を通して伝えたい自分の思いを持つことができる。 ・ 報告文をもとに4年生に分かりやすい話の組立てや表現方法を考えながらスピーチ原稿を作ることができる。
②	適切に話すことができる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の伝えたいことが効果的に伝わるスピーチになるように工夫することができる。 ・ 自分の伝えたいことを4年生に分かりやすくスピーチすることができる。 ・ メモを利用して、聞き手の反応を見ながらスピーチすることができる。
③	話を聞き取ることができる	<ul style="list-style-type: none"> ・ スピーチの内容や方法を工夫している友だちのスピーチを聞き、具体的にアドバイスすることができる。

6 単元の指導計画 (話す・聞く 6時間 書く 6時間)

時間	主な学習活動	評価規準 ※関心・意欲・態度○話す・聞く□書く
第1次	第1時 ○体験を振り返り、だれに、何を、なんのために伝えるかを決める。 ①5年生になって、学校生活で心に残っている体験を思い出し、その体験を交流しあう。 ②自分の伝える内容を決める。	※5年生の活動を振り返り、具体的活動や成長したところを出し合うことにより、報告文とスピーチに取り組みたいという意欲を持っている。 □自分の伝えたい活動とその伝えたい中心点を書いている。
第2次	第2・3時 ○伝えたい中心点から、伝えたい体験についての材料を集める。 ①報告文を書く見通しを持つ。 ②カードの書き方について確認する。 ③伝えたいことの中身をカードに書く。	□報告文の組立てを考えるためのカードの使い方を理解している。 □自分の思いを伝えるために必要な材料をカードに書き出している。
	第4時 ○文章の組立てを、カードを使って考える。 ①教材文や例文を見て、効果的な表現方法を知る。 ②教材文や例文の書き方のパターンを例示する。 ③パターンを参考にしながら、カードを並べる。 ④並べたものを見て、組立てを考える。	□組立ての参考例をもとに、それぞれの特長を理解した上で、自分の思いを伝えるために効果的なカードの並びを考えている。
	第5時 ○書き方を工夫し、伝えたい体験と思いを文章にまとめる。 ①教材文や例文を見て、効果的な表現方法を知る。 ②カードをもとに、文章を書く。	□自分の思いを伝えるために、効果的な表現方法を理解した上で、カードの並びを生かして文章を書いている。
	第6時 ○書いた文章をお互いに評価し合う。 ①完成した文章を推敲する。 ②評価の観点を確認する。 ③書いた文章をお互いに読み合い評価する。 ④これまでの学習について振り返る。	※完成した報告文を、具体例を挙げて評価することにより、次への学習意欲を持っている。 □自分の思いを効果的に伝える報告文にできたかどうか自己評価し、さらに、友だちの作品を具体例を挙げ評価している。
第3次	第7時 ○書いた文章をもとに、スピーチ原稿を作る。 ①スピーチの目的をもう一度確認する。 ②教材文や例文をもとにスピーチ原稿を作る方法を知る。 ③スピーチ原稿を作る。	※スピーチの目的を理解し、これからの学習活動への意欲を持っている。 ○スピーチ原稿の作り方を理解した上で、報告文をもとに、見直す視点からスピーチ原稿を作っている。
	第8・9時 ○スピーチ原稿をもとに練習をする。 ①2人組を作りその中でお互いに練習する。 ②アドバイスを受けてさらに工夫を加える。 ③3人グループで練習する。 ④アドバイスを受けてスピーチを完成させる。 (本時2/2)	○自分の思いを伝えるために、工夫の視点を明らかにした上で、スピーチを工夫している。 ○友だちのスピーチをよりよくするために、工夫の視点を明らかにして、自分の思いが伝わるスピーチになるよう具体例を挙げアドバイスしている。
第4次	第10・11時 ○4年生に向けて報告会を開き、スピーチをする。 ①4年生を相手に「5年生報告会」を開く。	※自分の思いが伝わるように、気持ちを込めて、これまでの練習の成果を生かして、スピーチをしている。 ○自分の思いが伝わるようにメモを利用して4年生を見てスピーチをしている。 ○友だちのスピーチのよさを記録している。
	第12時 ○学習を振り返る。 ①自分たちの報告会をビデオで見て、自己評価する。 ②ビデオや本番を振り返り友だちの評価をする。 ③評価を交流しあう。	※これまでの学習活動を振り返り、次の学習活動につながる成就感を持っている。 ○ビデオや報告会を振り返り、自分のよさや友だちのよさを、具体例を挙げて評価している。

7 本時の指導

(1) ねらい

○スピーチメモを見ながら4年生に分かりやすいスピーチができるように、スピーチの組立てや表現方法をさらに工夫することができる。

(2) 展開

段階	学習活動	学習内容	・指導上の留意事項	
導 入	1. 前時の学習を振り返る。	前時のアドバイスや感想	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習プリントを読み、活動を思い出す。 ・伝える相手（相手意識）やなぜ伝えるのか（目的意識）を確認し、報告会に向けてさらに自分のスピーチの仕方をよりよいものにする時間であることをとらえる。 	
	2. 本時間の学習課題をつかむ。 さらにスピーチにみがきをかけよう！	相手意識 ○ 来年の5年生である4年生に 目的意識 ○ 5年生の活動の素晴らしさややりがいを伝える		
展 開	3. 工夫すべき点を確認する。		・視点を確実につかむ。	
	工夫の視点 ○スピーチの組立て（・伝えたいことが分かる・話の順番が分かりやすい・はじめにこれから話すことを話している・分かりにくいところがない・おわりによびかけている・「です」「ます」を使っている・1文が短い） ○表現（・メモを見て話す・間を取って話す・相手を見て話す・表現を工夫している・伝えたい気持ちがある）			
	4. 工夫すべき視点をもとに工夫を加える。（1人）	話し手 ○ 工夫すべき視点を意識してスピーチする ○ アドバイスを受け止める 聞き手 ○ 工夫すべき視点を意識して友達のスピーチを聞く ○ よさと改善点をアドバイスする	<ul style="list-style-type: none"> ・視点を頭に置き、前回のアドバイスを振り返りながら練習する。 ・工夫すべき視点について確認し、アドバイスすべき視点を全員に持たせてから練習に入る。具体的にアドバイスできるようにする。 ・よいところも具体的に伝えるようにする。 ・1人のスピーチが終わるたびによさとアドバイスを伝える。 ・優れたスピーチを見ることにより、よりよいスピーチの仕方を全体に広める。 ・アドバイスを受けて、さらにどのような工夫を加えたらよいか考え、練習する。 ・1回目と比べてよくなったところを伝え、成就感を持つ。 	
	5. グループに分かれ練習する。（3人）			
	6. よいスピーチを広める。			
	7. アドバイスをもとにさらに工夫し練習する。（1人）			
	8. もう一度グループで練習する。（3人）			
	《評価規準》 ・工夫の視点をもとにして、スピーチの組立てや表現方法をさらに工夫することができたか。	《具体の評価規準》 A組立ての工夫の視点と表現の工夫の視点から3つ以上、スピーチの組立てや表現方法に工夫を加えることができる。 B組立ての工夫の視点と表現の工夫の視点から2つ、スピーチの組立てや表現方法に工夫を加えることができる。		《Cへの配慮》 ・工夫の視点の中で、1番受け入れやすいものを考えさせ、スピーチに取り入れる。 ・スピーチの原稿を作る際に使った例文を参考にさせ、工夫すべき点を考える。
ま と め	9. 学習のまとめをする。	本時の学習内容の振り返りと本時の感想		<ul style="list-style-type: none"> ・自分のスピーチがどう変わったのかを感想に書く。 ・次時がこの単元の最終ゴールであることを確認し意欲を高める。
	10. 次時の予告をする。	次が報告会		

単元の指導計画略案 (書く 6時間 話す・聞く 6時間)

時間	主な学習活動
第1次 第1時	<p>○体験を振り返り、誰に、何を、なんのために伝えるかを決める。</p> <p>① 5年生になって、学校生活で心に残っている体験を思い出し、その体験を交流しあう。</p> <p>② 子どもたちが出した活動から、これまでの5年生の活動の素晴らしさや自分たちの成長を確認する。</p> <p>③ 伝える相手を決める。(来年の5年生である4年生に！)</p> <p>④ 伝えるねらいを決める。(5年生の活動の素晴らしさ、楽しさ、面白さ、やりがい、夢を伝える！)</p> <p>⑤ 友達の考えを参考に自分の伝える内容を決める。(どの活動にするのか？その活動を通じて自分の伝えたいことは何か？○○は××だ！)</p>
第2次 第2・3時 第4時 第5時 第6時	<p>○伝えたい中心点から、伝えたい体験についての材料を集める。</p> <p>① どの活動にするのか、その活動から伝えたいことはなんなのかをもう一度確認する。大切なのは主題(○は××である)ということ。</p> <p>② 報告文を書く見通しを持つ。(カードを書く→そのカードをもとに構成する→文章を書く) ※ 参考例として自分で作った文章を提示する。さらにカードもそれ用に作りそれを見せる。3パターンぐらい作りたいが…。</p> <p>③ カードの書き方について確認する。(したこと、心に残ったこと、それ以外) ※ 自分のいいたいことを伝えるために何が必要なのかを書き出すための方法を説明し、さらに書き方を伝える。</p> <p>④ 伝えたいことの中身を思い出しカードに書く。(なかなか浮かばない子どものために参考例を準備)</p>
	<p>○文章の組立てを、カードを使って考える</p> <p>① 教材文や例文の書き方のパターンを例示する。(カードと本文のつながりがどうなっているかを知る。)</p> <p>② パターンを参考にしながら、カードを並べる。(基本的に自分がどのパターンで書こうとしているのかを押さえた上でカードを並べる。並べる中で必要なカードといらぬカードを選ぶ。さらに並べる中で足りない中身があったらカードを付け足す。)</p> <p>③ 並べたものを見て、構成の仕方を考える。(並びが決まったら、題や書き出し、結びの言葉を考える。さらに余裕があれば中身の文章も考える。)</p>
	<p>○書き方を工夫し、伝えたい体験と思いを文章にまとめる。</p> <p>① 教材文や例文を見て、効果的な表現方法を知る。(①文の続き具合、②主語と述語の関係、③文末の工夫、④どういう言葉を使うか、について例を挙げて理解させる。) ※ 書くことは伝えること！ではもちろんあるが、書くことによって自分の考えがまとまる！広がる！深まる！</p> <p>② カードをもとに文章を書く。(どう書いたら、自分の伝えたいことが効果的に伝わるかを意識して書く。困った時は例文や教科書を参考にさせる。) ※ おそらく終わらないので完成は宿題となる。それをしっかり推敲・評価して次時の授業に備える。</p>
	<p>○書いた文章をお互いに評価しあう。</p> <p>① 完成した文章を推敲する。(自分の文章を読み返し、さらに工夫を加える。相手は4年生であるということのを頭に置き、分かりやすいかどうかを基準に直す。言葉を変える。余計な文章を削る。足りない部分は付け足す。)</p> <p>② 観点に沿って自己評価する。(◎○△だけでなく、感想も書く。自分の成長を自分でまず感じさせたい。)</p> <p>③ 書いた文章をお互いに読み合い評価する。(友達のよいところを紙に書き出す。自分で成長を感じるだけでなく、回りからの評価によって成就感を味わわせる。前の班で行う！)</p> <p>④ これまでの学習について振り返る。(自己評価と他者評価により、全員に報告文に対する成就感を確実に持つように振り返る。)</p>

第3次	第7時	<p>○書いた文章をもとに、スピーチ原稿を作る。</p> <p>① スピーチの目的をもう一度確認する。(来年の5年生である4年生に、5年生の活動の素晴らしさ、楽しさ、面白さ、やりがい伝えるということが今回の目的であることを確認する。これを確認することで、もう一度意欲をしっかりと持たせる。)</p> <p>② 「活動報告会」の詳しい中身について伝える。(4の1と4の3に伝える。クラスを半分に分け、それぞれの学級に伝えることになる。発表は1人2分以内とする。場所は音楽室。マイクは使わない。このことを伝えることで「報告会」のイメージをより具体的に持てるはずである。)</p> <p>③ 教材文や例文をもとにスピーチ原稿を作る方法を知る。(教材文や例文を利用して理解させる。)</p>
	第7時	<p style="text-align: center;">直す観点</p> <p>(1) 伝えたいことは何か! (「○○は××である」ということ)</p> <p>(2) 伝えたいことを4年生に伝えるための組立てにする!</p> <p>(3) 初めに、これから話すことを大まかにまとめて話す!</p> <p>(4) 分かりにくいところは説明を加える!</p> <p>(5) よびかけの言葉で結ぶ!</p> <p>(6) 文末を「です・ます」に!</p> <p>④ スピーチ原稿を作る。(観点を頭に置き、スピーチ原稿を完成させる。おそらくこの時間では終わらないので、宿題で完成させ、一通り目を通しておく。さらに発表のためのメモを作る。)</p>
第3次	第8・9時	<p>○スピーチ原稿をもとに練習する。</p> <p>① 練習する際の視点をつかむ。(次のところに気をつけて話をする。あるいは話す。)</p>
		<p style="text-align: center;">話し手・聞き手の練習の視点</p> <p style="text-align: center;">スピーチの組立てについて</p> <p>(1) 主題が分かるか?</p> <p>(2) 分かりやすい組立てか?</p> <p>(3) 初めのまとまりでこれから話すことを大まかに話しているか?</p> <p>(4) 分かりにくいところはないか?</p> <p>(5) 最後、よびかけているか?</p> <p>(6) 「です・ます」になっているか?</p> <p style="text-align: center;">スピーチの表現(技術?)について</p> <p>(1) メモを見て話しているか?</p> <p>(2) 間を取って話しているか?</p> <p>(3) 相手を見ているか?</p> <p>(4) 工夫があるか?(身振り手振り、資料の提示、いろいろな表現など)</p> <p>(5) 伝えたいという気持ちが伝わってくるか?</p> <p>② 1人で練習する。(視点を意識しながら工夫を加え練習してみる。)</p> <p>③ 2人組を作りその中でお互いに練習をする。(視点を意識することで、お互いのよさ、改善点を指摘することで、さらにしっかりとしたスピーチができるようにする。相手のスピーチを聞いたら、それに対してアドバイスする。もし時間が余ったときはさらに練習してみる。)</p> <p>④ よかったグループのスピーチとアドバイスをみんなの前でやってみせる。(やって見せるだけでなく、何がよかったのかを全体で確認する。)</p> <p>⑤ アドバイスを受けてさらに工夫を加える。(全体で改めて練習する時間を設ける。)</p> <p>⑥ 2回目の練習の視点をつかむ。(基本的に前回と同じであるがさらにパワーアップするのがねらい。)</p> <p>⑦ グループで練習する。(3人で練習する。1人終わったら、必ず残りの2人で評価する。その評価を確実に伝える。伝えるためにプリントで整理させる。時間のゆるる限り練習する。)</p> <p>⑧ よかったグループのスピーチとアドバイスをみんなの前でやってみせる。(やって見せるだけでなく、何がよかったのかを全体で確認する。)</p> <p>⑨ アドバイスを受けてスピーチを完成させる。(アドバイスをもとにスピーチのやり方に工夫を加える。)</p>
第4次	第10・11時	<p>○4年生に向けて報告会を開き、スピーチをする。</p> <p>① 報告会のスピーチの自分のめあてを持つ。(一人一人に確実に持たせ意欲的にスピーチさせる。)</p> <p>② 4年生を相手に「5年生報告会」を開く。(進行等は役割分担をして、授業時間以外のところで練習しておく。2つのグループに分け、4の1と4の3に行って報告会を行う。)</p> <p>③ 報告会の様子をビデオに記録する。</p> <p>④ 最後に4年生の人達から感想をもらう。(発表と感想用紙を作り、それに記入してもらう。)</p>

第 12 時	<p>○学習を振り返る。</p> <p>① 自分たちの報告会のビデオを見て、自己評価する。(2つのグループに分かれて、自分たちの発表の様子を見る。見終わったあと、自分の発表がどうだったか自己評価する。◎○△だけでなく、文章化して感想として自己評価を残す。)</p> <p>② ビデオや本番を振り返り友達の評価をする。(全員は無理なので、班員全員の評価と、何人かの自分の中で印象に残った人の評価を文章化して残す。)</p> <p>③ 評価を交流しあう。(評価した紙を相手に渡す。さらに何人かの評価を発表する。)</p> <p>④ 感想を書く。(全体を通しての感想を書く。これによって成就感を確実に持たせる。)</p>
--------------	---

名前

はじめる

今日から新しい単元に入ります。この単元で先生は、君達に文章を書く力とスピーチする力をさらにパワーアップしてほしいと思っています。この単元の授業が終わった時に、これまでよりも文章がしっかり書けるようになり、これまでよりもスピーチがしっかりできるみんなになってほしいと思っています。この授業が終わった時に、自分もパワーアップしたし、みんなもパワーアップしたとお互いに感じられる、そんな活動ができたらいいなあと思っています。どこまでみんなが成長できるのかととても楽しみにしています。みんな頑張っていきましょう！エイ！エイ！オー！

一、課題（今日の授業の課題をしっかりとつかもう！）

二、五年生のこれまでの活動を振り返ろう！（いろんな活動があったよね。これまでを振り返り思い出してみよう！みんなすごく頑張ってくれたよね！どんな思い出、どんな頑張り・成長があったかな？）

五年生の活動						思い出						成長したところ頑張ったところ					

三、だれに、何を、なんのために伝えるか確認しよう！（これが一番大切なことです！しっかりと頭に入れておこう！）

だれに			
何を			
なんのために			

四、自分の伝えたいことを決めよう！（伝えたいことをはっきりさせよう！「〇〇は××である」と主題をはっきりさせること！これが決まれば決まればいい文章、いいスピーチが絶対できるよ！）

伝えたい活動			
伝えたいこと			

五、今日の勉強の感想を書こう！

次の時間も頑張ろう！

名前

一、課題 (今日の授業の課題をしっかりとつかもう！)

二、伝えたい活動と伝えたい思いを書き出してみよう！ (いっぱい書いてみよう。その中で書いたことが見えてくるよ！)

三、自分の伝えたいことを短く書いてみよう！ (伝えたいことをはっきりさせよう！主題をはっきりさせること！これが決まれば決まればいい文章、いいスピーチが絶対できるよ！)

四、今日の勉強の感想を書こう！

次の時間も頑張ろう！

名前

一、課題 (今日の授業の課題をしっかりとつかもう！)

二、伝えたい思いを伝えるために必要なことを書き出そう (文章に書くときには使わないかもしれないけれど、このこと書いたらいいなあと思ったことを書いてみよう！)

I 伝えたいこと

①	
②	

II したこと

③	⑤
④	⑥

III 心に残ったこと

⑦	⑨
⑧	⑩

IV そのほか

⑪	
⑫	

三、今日の勉強の感想を書こう！

次の時間も頑張ろう！

名前

一、報告文の組立てを考えよう！ (どの順番で書いたら、自分の伝えたいことが効果的に伝わるのかを頭に置いて組立てを考えよう！)

題	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>				
終わり (感想・意見)	中			はじめ (書き出し)	
	④	③	②	①	

二、今日の勉強の感想を書こう！

名前

一、課題 (今日の授業の課題をしつかりつかもう！)

二、自分の文章を振り返ろう！ (それぞれの項目がどうだったか自分で見直してみよう！)

◎ 自分の伝えたいことがよく分かりますか？	
◎ 書くことによって自分の考えが深まりましたか？	
◎ 題名のつけ方はどうですか？	
書き出しの工夫はどうですか？	
一つの段落に一つのことを書けていますか？	
段落や文のつながりはよく分かりますか？	
むすびは工夫されていますか？	
いらぬ文章をばくすることができましたか？	
文末は工夫されていますか？	
言葉や漢字の使い方は適切ですか？	

報告文が上手にかけたかどうか自分で評価してみよう。◎○△を書いてね。

◎ (とてもよい！)
○ (なかなかよい！)
△ (もう少しかな？)

三、友達のよさを伝えよう！伝えてもらうよう！ (友達のよさをいっぱい見つけよう！自分のよさも見つけよう！)

四、今日の勉強の感想を書こう！ (自分の評価と友達からの一言をもらって、自分で書いた報告文がどうだったか感想を書こう！)

次の時間も頑張ろう！

名前

--

一、課題（今日の授業の課題をしっかりとつかもう！）

--

二、だれに、何を、なんのために伝えるか確認しよう！（これが一番大切なこと！）

だれに	
何を	
なんのために	

三、報告会のやり方を確認しよう！

相手	時間	場所

四、スピーチ原稿を作る時に気をつけてほしいことを確認しよう！

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	

五、自分の伝えたいことを決めよう！（伝えたいことをもう一度確認しよう！）

--

六、今日の勉強の感想を書こう！

次の時間も頑張ろう！

名前

一、課題

二、自分の伝えたいことを書こう！

三、友達のスピーチを聞いてアドバイスしよう！

	よかったところ	さらに工夫したいところ
1回目		
2回目		

四、友達のアドバイスを聞いて工夫しようと思ったことを書こう！

1回目	
2回目	

五、今日の勉強の感想を書こう！

名前

--

一、 課題

--

二、 自分の伝えたいことを書こう！

--

三、工夫したいことを書こう！

--

四、 自分のスピーチをふり返ろう！

みかっただところ	工夫すべきところ

六、 さうじを工夫しよう！

--

七、 今日の勉強の感想を書こう！

次の時間はいよいよ報告会です！次も頑張ろう！

「わたしたちの学校生活」

名前

五、友達のスピーチを聞いてアドバイスしよう！

さん

2回目		1回目	
よかったところ	よかったところ	さら	さらに工夫すべきところ
あれば工夫すべきところ	あれば工夫すべきところ		

さん

2回目		1回目	
よかったところ	よかったところ	さら	さらに工夫すべきところ
あれば工夫すべきところ	あれば工夫すべきところ		

いいアドバイスだね！

「わたしたちの学校生活」スピーチ評価カード

名前

一、自分のスピーチを評価しよう！(◎○△で評価しよう！)
 組立について

視		点
伝えたいことが分かるか		1
話の順番は分かりやすいか		2
はじめにこれから話すことを話しているか		3
分かりにくいところはないか		
おわりによびかけているか		
「です」「ます」になっているか		
一文は短くなっているか		
その他		

表現について

視		点
メモを見ながら話せたか		1
間を取って話せたか		2
相手を見て話せたか		3
表現の工夫があるか		
伝えたいという気持ちらが伝えられたか		
その他		

二、評価してみての感想を書こう！

.....

.....

.....

自分の思いが伝わるスピーチになったかな？

名前

「 親 友 の 味 方 を 持 ち つ ! 」

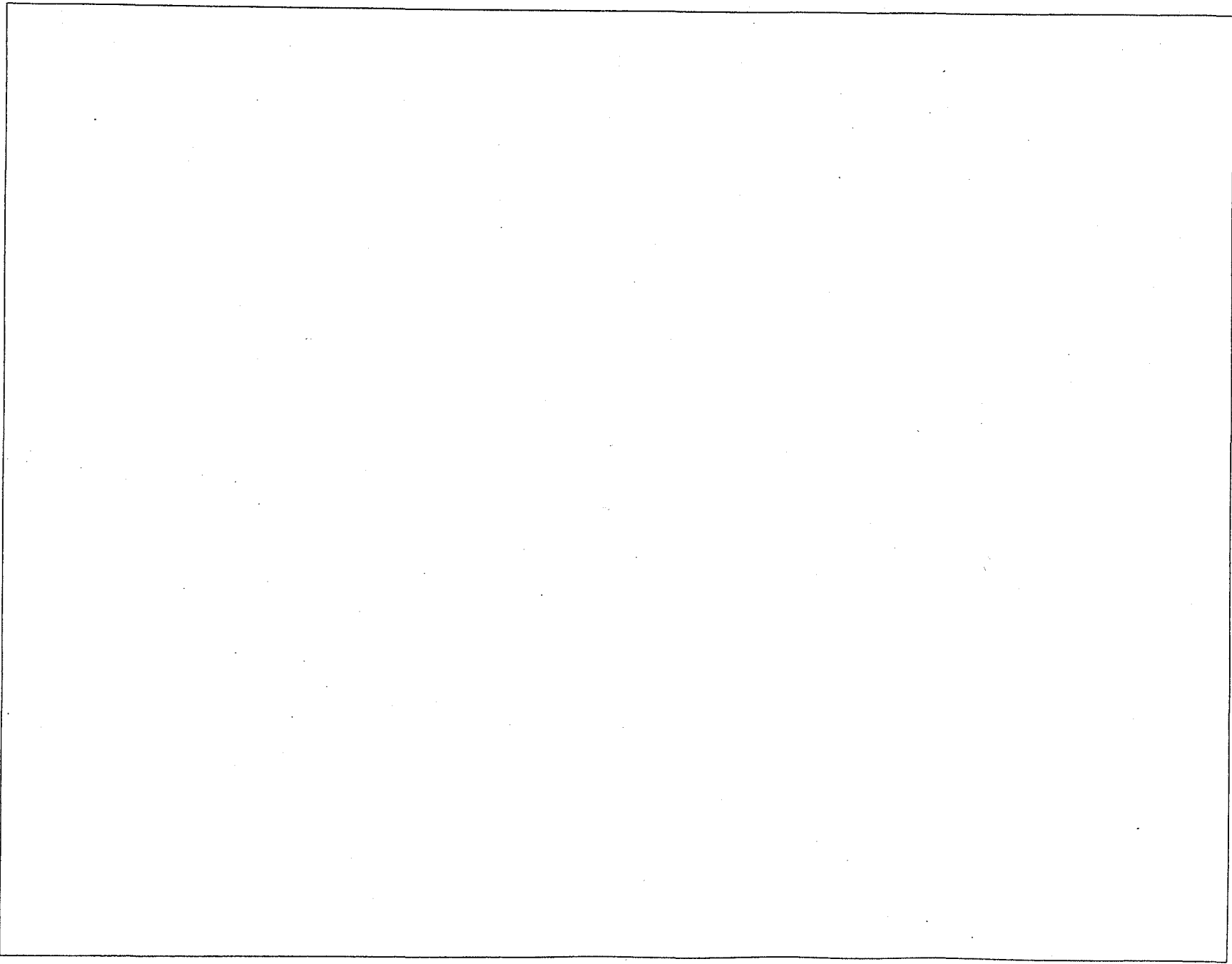
「 みんな の よ け を 書 け ! 」

感 想								

「わたしたちの学校生活」

名前

「みんながうの一言を貼ろう！」



二、自分が成長したことを書こう！

三、わが国と世界の発展について語ろう！

本当によく頑張ったよね！さっばら五の一是めつー！
次は十一月に研究授業がまたあります。その時も五の一のめつーとつろを見せ付けよう！